



卒業おめでとう



令和四年
三月十二日

「人としての魅力」とは？

校長 白岩 博明

中学校3年生のみなさん、卒業おめでとうございます。みなさんは男女共学、そして、中高6か年一貫生の一期生として入学しました。入学からの一年間は順調な学校生活でしたが、2年次からはコロナ禍の中、不自由な学校生活となってしまいました。しかし、そんな制限や我慢を強いられても、みなさんなりに工夫をし、知恵を出しながら学校生活を送れたのではないのでしょうか。

さて、『シン・二ホン』（安宅和人）という本に記してあった、これからの時代の「人としての魅力」について、みなさんにだけお伝えしたいと思います。

- ・ 明るさや前向きさ
- ・ 心の強さ
- ・ 信じられる人であること、人を傷つけたり騙したりしないこと
- ・ 包容力、愛の深さ、心の優しさ
- ・ その人らしさ、真正さ、独自性
- ・ エネルギー、生命力（運気の強さ）
- ・ リスクをとって前に進める提案力、実行・推進力
- ・ 建設的な発言
- ・ 協力し合う、助け合う人柄

・ 耳を傾ける力

・ ユーモア、茶目っ気

・ 素敵な裏表のない笑顔

こんな魅力を兼ね備えた人はいるのだろうかと思ってしまうですが、これから先、こんな人に必ず出会っていくはずです。偶然ではなく、意図的に。なぜなら、みなさんも自ずとこんな魅力を目指して生きていくだろうから。そして、それが人として成長することなのだと思っているから。

一期生のみなさんの活躍と成長を心から期待しています。

卒業おめでとう

中学教頭 藤島 秀成

先般発行された協創通信に協創中学校第一期生の皆さんに向けたお祝いの言葉を掲載させていただきましたが、改めて本紙を通じて皆さんの門出を祝福したいと思います。ご卒業おめでとうございます。

さて、皆さんは年間約千五百万人の来場者を集める大阪のUSJに低迷期があったことをご存じですか。そこから驚異のV字回復の立役者となったのが森岡毅さんといわれています。ハリウッド映画の中

心の世界観からサブカルを含めた、いいところ取りのテーマパークへと進化させていくことでターゲット層の拡大を図り、ブランドイメージの大転換を図ったことが奏功したようです。そこには緻密なマーケティングやブランディングがあったことはいくまでもありません。最強のマーケットとの異名を持つ森岡さんは、論理的かつ多面的な視点で物事を捉えていく思考力と類いまれな実践力、熱量の大きな発信力によってUSJの他にも、大手うどんチェーン店やリゾート施設などの再生を手がけています。

森岡さんは、著書の中で「自分の強みを理解して、どうやったら自分の強みを活かせるのか」を常に考えることが重要だといわれています。また、勝利の方程式は、「本気でやらないと、本能は分からない、本能にぶつ刺されば、当たる」ということです。

新たな人生のステージに進む皆さんが、本能を揺さぶられる多くの経験を通して、自分の強みを発見し、有意義な高校生活を送ってもらいたいと思っています。

祝 卒業

中学主任 小林 理映

中学三年生の皆さん、ご卒業おめでとうござい

す。
皆さんと初めて会ったのは二年前、1Aの社会科の授業でした。ビーチボールの地球儀に目をキラキラさせていたあの頃を今懐かしく思います。卒業

の時を迎えた今、皆さんの身長はあの頃よりもずっと大きくなり、顔立ちも大人っぽくなりました。月日の経つのは早いものです。

昨日といひ 今日と暮らして あすか川

流れてはやき 月日なりけり

春道列樹

広島修道大学ひろしま協創中学校での三年間はいかがだったでしょうか。

皆さんは入学当初から第一期生として学校内外から注目されていました。新しい行事やカリキュラムが用意され、他の学校ではできなかった学びがあったと思います。コロナウイルス感染症の影響で中止になった行事も多くありましたが、皆さんのプレゼンテーションやクラスマッチでのチームプレーを拝見するにつけ、五十一人の皆で確かな歩みを積み重ねていったことが感じられました。

高校生になっても新たな場で新たな可能性を見つけて、未来に向かって進んでいくください。皆さんのご活躍をお祈りいたします。

「believe in yourself!!」

三年A学級担任 河野 裕介

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。初めて担任を受け持ったこの1年間、皆さんとは深く深く関わらせてもらいました。本当に濃い1年間をいただき、ありがとうございます。

目指したいものや追究したいことが明確な生徒

が多い学年だったように思います。日々皆さんからは「〇〇がしたい!」という声をたくさんもらっていました。それらが実現できるように工夫していましたが、昨年度に引き続き新型コロナウイルスのまん延の影響で、なかなか思うようなことができない1年間となりました。皆さんにはとても悔しい思いをさせてしまったと思います。

これから皆さんは「高校」という、より大きな世界へと羽ばたいていくことになります。大きな世界を前に、時には不安で足がすくみ、逃げ出したくなることもあるでしょう。そんな時には、この3年間をともに乗り越えた同級生、支えてくれた家族の方や学校の先生、そして自分自身を思い出してください。そしてそれらを、自分自身を信じてください。

この3年間を乗り越えた皆さんであれば、どんな困難も乗り越え、前を向くことができると思います。

大きく、大きく羽ばたいてください。卒業おめでとう。

ありたい自分を見つけてください

三年B学級担任 青山 早智子

ご卒業おめでとうございます。二年間、この学年の担任をできたこと、本当に幸せでした。みなさんは私が初めて受け持った生徒です。お休みしている間もみんなの顔が毎日浮かびました。それはきっと、卒業してもそうだと思います。

みなさんはとても「いい子」でした。私の指導に

納得がいなくても、行動に移してくれました。その時は分からなくても後から重要性に気づくことは多々あります。大人の言うことは聞いておくのが賢明です。もう一つ、「自分がどうありたいか」ということも大切にしてください。いつか、自分を見失わないように、苦しい時に支えになるものを持つておけるように。自分の選択肢を広げるために、歯を食いしばって頑張ってほしいと思います。でも、頑張れない時があってもいい。どんなときも「ありたい自分」を大切にしてください。私はありのままのみなさんも大好きです。ありたい自分になるために進むみんなを応援します。二年間、本当にありがとうございました。

勉強は何のために

三年A・B学級 副担任 竹田 勉

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。3年間の中学生活はどうでしたか。各教科の学力はついたでしょうか。みなさんは義務教育を終え、全員が高校に行きますね。私が生徒のころ、中卒で働く者もいる中で「何のために義務教育があるのか」の問いに、先生はこうおっしゃいました。「自由で民主的な平和な社会を維持する最低限の学力をつけるためだ。新聞を読めない国民になったら、また独裁者を許し、命が脅かされる。」

新聞を読むと、「マイクローシーベルト」や「ベクレル」などの単位が出て「なにこれ」と思うことがあると思います。そこで「まあいいか」と思うか、

「なぜ？」と思うかで未来は大きく変わるといふこととです。そこで「なぜ？」と思つて調べる姿勢があれば、「自由で民主的な平和な社会を維持する」ことができると思ひます。みなさん、プーチンを生まない日本を作つて下さい。

日々の小さなことを大切に

二年A学級 担任 大場 梨央

みなさん、ご卒業おめでとうございます。まずは、中学3年間の学校に通わせてくれた保護者の方に心から「ありがとう」の想いを伝えてください。そして、毎日一生懸命に指導してくださった担任・副担任の先生方にも感謝を伝えましょう。

みなさんとは学年は違ひましたが、約2年間関わらせてもらひました。この学年の素晴らしいところは、「おはようございます!」「こんにちわ!」と人の目を見て元気に挨拶が出来るところだと思ひつています。何度すれ違ひても、元気な声で挨拶をしてくれる3年生から毎日元気をもらつていました。

挨拶は、勉強が出来るよりなにより、人として大切な力です。みなさんには「感じのいい人」に育つて欲しいと思ひます。感じの良さは決してお金では買へません。日々の生活の中で身につけていくしかありません。高校生になつても、是非その素敵な挨拶を続けていつて下さい。小さなことですが、必ず目に見えない財産になるはずです。

最後に、本当に卒業おめでとう!高校生になつてもずっと応援しています!

皆さんの明るい将来に向けて

二年B学級 担任 吉岡 賢一

皆さんご卒業おめでとうございます。私が中学三年生の時も、次のステップとなる高校での生活に期待を膨らまして、どんなことをしようかとドキドキしていたように覚えています。皆さんはどうでしょうか、将来のビジョンはありますか?目標とする事柄や夢はありますか?

私自身、中学三年生の時点で明確な目標を持つていたかという曖昧になりますが、勉強や部活、生活習慣を含めて小さな目標を立てて頑張つていたことは覚えています。一個ずつ目標に向けて取り組む、プランを立てて「努力」をしていくことはとても大切です。何事も諦めず、がむしやらにに取り組んでいくことが、自分の殻を破り、一歩前に進むことへの確かな道標となるように思ひます。

これから皆さんが進んでいく先には様々な事が待つていると思ひますが、諦念することなく前を向いて突き進んでほしいなと思ひます。最後になりますが、卒業おめでとうございます。これからの皆さんの将来に期待をしています。

ご卒業おめでとうございます

二年A・B学級 副担任 井上 裕介

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございませす。

みなさんは九年間の義務教育を経て、次はいよいよ自分で決めた「道」に進まれます。

詩人の坂村真民さんが作つた詩に、みなさんがこれからの人生を歩んで行く上で励ましてくれるような、次のものがあります。

一本の道を 坂村真民

木や草と人間と
どこがちがうだろうか
みんな同じなのだ
いっしょうけんめいに
生きようとしているのを見ると
ときには彼等が
人間よりも偉いとさえ思われる
かれらはときがくれば
花を咲かせ
実をみのらせ
じぶんを完成させる
それにくらべて人間は
何一つしないで終わるものもいる
木に学べ
草に習えと
わたしはじぶんに言いきかせ
今日も一本の道を歩いて行く
それぞれの「道」で色とりどりの花を咲かせ、実を結ばせてください。

ありがとうが言える人でいよう

一年A学級 担任 木坂 啓亮

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。この3年間は皆さんにとつてどのような3年間で

したか？1年生の3月からは休校、学校再開後も行事の中止や縮小が相次ぎ、思い描いた通りの中学校生活ではなかったかもしれません。ところで3年前の4月8日、みなさんは入学式が終わった後、教室で何をしたか覚えていますか？入学前登校で書いてきたお手紙を保護者の方に渡して、「ありがとう」という言葉を伝えましたね。中学生になった皆さんの立派な姿を見て涙を流しておられた保護者の方のもいらつしやったように思います。そんなみなさんとも来月からは高校生です。新生活に向けた準備も大切ですが、中学校卒業の節目にあたって3年間を振り返り、初心を忘れずに素敵な高校生活を送ってくださいね。

協創中第一期生 高校生活へ

一年A学級 副担任 佐々木 公子

中学校三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、三年前に広島修道大学ひろしま協創中学校の第一期生として入学してきてくれました。しかも、男女共学としての入学です。

入学当初から元氣いっぱい、元氣いっぱい過ぎるがゆえに、担任の先生方も苦笑いの日々だったように思います。でも、「やるときにはやる」という感もあり、行事などへの取り組み方を見ても、たくましくパワフルというのも間違いないかもしれませんでした。

しかし、コロナ感染症の影響が学校生活にも及ぶことが多くなり、様々な行事が中止となり、次第に残

念なことが増えました。本当に生徒の皆さんには、申し訳なかったと思います。その中でも、皆さんの笑顔には救われました。どうかそのたくましい雰囲気をもそのまま高校生活にも生かしていただき、だれにも負けない、まっすぐな気持ちで高校生活をスタートさせてください。そして、より自立した自分を確立していきましょう。その姿を見るのを楽しみにしています。

【条件付き】失敗をしましょう！

一年B学級 担任 伊藤 望

中学三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。唐突ですが、皆さんは「失敗」に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか。多くの人はきっとマイナスイメージを持っているのではないのでしょうか。なかには卒業という良き日にあたり、「失敗をしましょう！」というメッセージはいかにもふざけていると思う人もいるかもしれません。

しかし、私はあえて（条件付きではありますが）「失敗をしましょう！」と言います。なぜなら失敗しない人というのは成長しない人だからです。何かにチャレンジをするから成功もするし、失敗もするのです。失敗をしない人というのは、聞こえはいいですが、何にもチャレンジしない人だと私は思いません。それでは成長しません。

ただし大切なのは「命に関わる失敗」、「前にした失敗と同じ失敗」をしないことです。この二つは成

長にはつながりません。

大人になるとなかなか思い切って「失敗」はできないですが、皆さんは成長のためにどんどん失敗してください。

独学のすすめ 2

一年B学級 副担任 宇根岡 俊二

以前全校集会で独学のすすめというテーマで話をさせていただきました。その話の補足となります。勉強というものは本来自分でまずやることだよ、という話でした。人から教えられることはもちろん大事で大切にしないといけないことだけど、自分でまづやろうとすることは何にも増して大切だよということ。この考え方はおそらく学校の勉強だけでなくスポーツや芸術などの実技、社会に出てからの仕事に応用できます。自分では解決できないこともあるから人からの教えは絶対に必要です。教科の学習は答えの決まっているみんなが既に知っている（既知）の事柄です。大学に入って、会社に入っている課題は未知の課題がたくさんあります。それらは自ら探究する心がないと解決しないことも多い。そもそも何が課題なのかも気づかない。それを見つけていく。「今日は何を教えてくれるん」という姿勢でなく、自らプロセスや正解を求めていく姿勢からスタートが始まります。高校は本来そのようなものです。

日本がかつての輝きを取り戻すために、若い皆さんの力が必要とされているのです。